

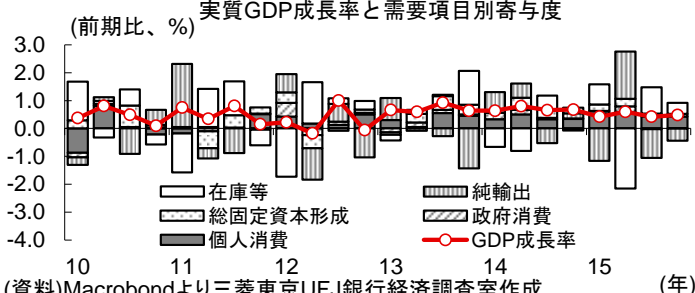
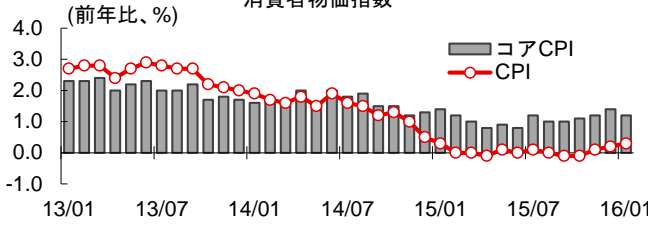
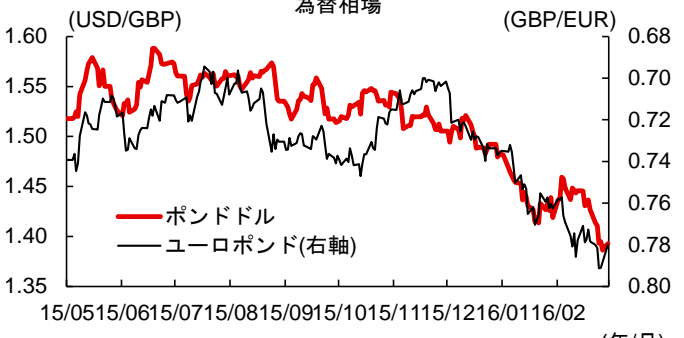
英国経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (UK)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	生産
<p>英国景気は底堅さを維持している。2015年第4四半期の実質GDP成長率は前期比+0.5%と、前期の同+0.4%から加速した。需要項目別の内訳を見ると、個人消費が同+0.7%と引き続き堅調となり、全体の伸びを牽引した。先行きについては、民間部門を牽引役とする内需の好循環により、底堅い推移が続く公算が大きい。年初以降下振れリスクが高まってきている点には留意する必要がある。特にEU残留の是非を問う国民投票が6月23日に実施されることが決定し、政治・経済の先行き不安が急速に高まっている。最新の世論調査では依然として残留派と離脱派が拮抗している。EUからの離脱が現実味を帯びてきた場合には、設備投資や海外からの直接投資の抑制といった景気下押し圧力が高まると考えられる。また、国民投票実施日程の確定を受けて、ポンドは年初以降の下落基調が加速し、足元、対ドルで7年ぶりの安値をつけている。今後についても、少なくとも国民投票が行われる6月までは、不透明感からポンドへの下押し圧力は強い状況が続くと考えられる。原油価格の再下落が物価上昇を抑制するとの見方から、イングランド銀行（中央銀行、BOE）は2月初めにインフレ見通しを下方修正したが、ポンド安による輸入インフレで想定以上にインフレ率が上昇する可能性にも留意しておく必要がある。</p>	<p>12月の鉱工業生産は前月比▲1.1%となり、2カ月連続でマイナスの伸びとなった。2月の製造業PMIは50.8と約3年ぶりの水準に低下した。輸出受注が2カ月連続で減少したほか、国内受注も鈍化した結果、新規受注全体の増加幅が縮小した。</p>
<p>実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>消費、労働市場</p> <p>1月の小売売上は、マイナスの伸びとなった前月（前月比▲1.4%）からの反動もあり、同+2.3%と強い伸びを示した。雇用・賃金情勢をみると、10-12月期の雇用者数は、7-9月期から20.6万人増の3,142万人となった。失業率は5.1%と横ばい。一方、12月の名目賃金上昇率（3カ月移動平均、ボーナス含む）は前年比+1.9%となり、3カ月連続で伸びが鈍化した。消費者信頼感についてみると、失業率の低下や原油価格の一段安等を背景に、昨年終盤から上昇基調にある。ただし今後、EU残留の是非を問う国民投票の実施を前に、先行き不透明感から消費者マインドが冷え込むリスクには注意を要する。</p>
<p>金利・為替相場</p>	<p>物価</p> <p>1月の消費者物価上昇率は前年比+0.3%となり、前月の同+0.2%から加速した。エネルギー価格の下落幅縮小等が主因である。一方、コアインフレ率については前月の同+1.4%から同+1.2%に低下した。</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>政策金利： BOE の金融政策委員会（MPC）は 2 月 4 日、資産買取規模を 3,750 億ポンドに維持すると共に、政策金利を 0.50% で据え置いた。金利については昨年 8 月以降 0.25% ポイントの引き上げを主張してきたマクファティ委員も据え置きを支持し、7 カ月ぶりに全会一致での決定となった。同時公表のインフレ報告書では、新興国経済の減速等を背景に、実質 GDP 成長率見通しが下方修正され、2016 年については前回 11 月予想の前年比+2.5% から同+2.2% に、2017 年は同+2.7% から同+2.4% に引き下げられた。インフレ見通しも下方修正され、2016 年内は同+1.0% を下回る状況が続くとした。BOE のカーニー総裁は 2 月 23 日の英議会証言で、BOE は必要ならば金融緩和を実施する余地があるとし、金利のゼロ付近への引下げも可能と述べた。ただし、マイナス金利導入の可能性については、重ねて否定した。</p> <p>市場金利（1月～）： 長期金利（10年物国債利回り）は、1月に1.96%で始まった。世界的な株安や原油価格の下落に加え、英賃金上昇率の減速や、1月19日にBOEのカーニー総裁が「今は利上げの時ではない」と発言したことを受けて利上げ時期見通しが後退したことなどから、一貫して利回りは低下が続いた。2月に入ってからでも下降は続き、11日には1.27%と過去最低水準を更新した。その後、中旬にかけては株価の反発を受けて1.4%台に戻す場面もあったが、EU残留の是非を問う国民投票が6月に実施されることが決定したことを受けて先行き不透明感が高まったことから利回りは再度低下し、足元1.3%台で推移している。</p> <p>為替相場（1月～）： ポンドの対ドル相場は1月に1ポンド=1.48ドルで始まった。12月の米FRBによる利上げ実施以降のドル高の動きや、英利上げ観測の後退等を受けて、21日には2009年以来的の低水準となる1.41ドルとつけた。その後、2月中旬にかけては1.44ドル台まで戻したが、足元では英国のEU離脱懸念からポンド売りが進み、25日には1.39ドルと7年ぶりの低水準となった。</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>  <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>金利・為替相場</p>

1. 年、四半期

	13	14	15	2014/Q4	2015/Q1	Q2	Q3	Q4
実質GDP成長率*	2.2	2.9	2.2	0.7 2.8	0.4 2.6	0.6 2.4	0.4 2.1	0.5 1.9
実質企業投資 (前期比、%) (前年比、%)	2.3	4.7	4.8	▲ 0.1 2.9	2.4 9.1	0.9 3.3	1.2 4.5	▲ 2.1 2.4
鉱工業生産*	▲ 0.8	1.3	1.0	0.0 0.9	0.4 0.9	0.7 1.3	0.1 1.2	▲ 0.5 0.6
製造業	▲ 1.1	2.7	▲ 0.2	0.1 2.7	0.0 1.2	▲ 0.6 0.0	▲ 0.4 ▲ 0.9	0.0 ▲ 1.0
信頼感指数*	▲ 2.0 ▲ 10.1	7.2 4.4	0.0 3.1	6.7 3.6	5.5 4.2	1.3 4.4	▲ 1.1 2.1	▲ 5.5 1.8
製造業 消費者								
小売売上数量*	1.4	3.9	4.6	2.4 5.3	0.6 5.3	0.9 4.3	1.0 4.9	1.1 3.6
失業者数 (失業保険ベース)* (千人) (前期比、%)	1,421.9 ▲ 10.3	1,037.6 ▲ 27.0	799.8 ▲ 22.9	908.2 ▲ 7.4	824.3 ▲ 9.2	797.6 ▲ 3.2	791.5 ▲ 0.8	785.9 ▲ 0.7
失業率*								
失業保険基準(%)	4.3	3.0	2.3	2.6	2.3	2.3	2.3	2.3
ILO基準(%)	7.6	6.2	-	5.7	5.5	5.6	5.3	5.1
平均賃金収入* (ボーナス含む) (前年比、%)	1.2	1.3	-	2.2	2.3	2.6	3.0	1.9
生産者価格								
工業品産出価格	1.3	▲ 0.0	▲ 1.7	▲ 0.9 ▲ 0.8	▲ 0.7 ▲ 1.8	0.3 ▲ 1.6	▲ 0.5 ▲ 1.8	▲ 0.6 ▲ 1.5
原燃料投入価格	1.2	1.5	0.0	▲ 3.7 ▲ 9.4	▲ 5.8 ▲ 13.5	0.2 ▲ 12.0	▲ 5.0 ▲ 13.6	▲ 1.8 ▲ 12.0
小売物価								
消費者物価(CPI)	2.6	2.4	1.0	0.1 0.9	▲ 0.7 0.1	0.6 0.0	0.1 0.0	0.1 0.1
総合指数(RPI)	3.0	2.4	1.0	257.4 1.9	256.4 1.0	258.5 1.0	259.3 0.9	260.0 1.0
住宅ローン金利を除く(RPIX)	3.1	2.4	1.0	0.2 2.0	▲ 0.4 1.0	0.8 1.0	0.4 1.0	0.2 1.1
住宅価格 (HBOS, Halifax index)	4.6	8.8	8.9	0.5 7.8	2.5 8.1	3.3 9.6	1.8 8.6	1.6 9.5
財輸出金額								
世界計 (百万ポンド) (前年比、%)	306,226 0.6	293,739 ▲ 4.1	285,642 ▲ 2.8	74,390 0.3	71,189 ▲ 2.7	74,445 0.9	70,237 ▲ 3.0	69,771 ▲ 6.2
対EU28カ国 (百万ポンド) (前年比、%)	154,135 0.8	146,018 ▲ 5.3	134,393 ▲ 8.0	35,625 ▲ 3.2	33,372 ▲ 9.9	34,043 ▲ 9.1	33,569 ▲ 6.5	33,409 ▲ 6.2
財輸入金額								
世界計 (百万ポンド) (前年比、%)	421,457 2.6	416,882 ▲ 1.1	410,670 ▲ 1.5	107,407 1.1	104,973 2.6	101,124 ▲ 1.8	102,074 ▲ 2.0	102,499 ▲ 4.6
対EU28カ国 (百万ポンド) (前年比、%)	221,249 5.6	225,645 2.0	223,412 ▲ 1.0	57,125 2.2	56,214 0.3	55,508 ▲ 0.9	55,090 ▲ 2.4	56,600 ▲ 0.9
財貿易収支								
世界計 (百万ポンド)	▲ 115,231	▲ 123,143	▲ 125,028	▲ 33,017	▲ 33,784	▲ 26,679	▲ 31,837	▲ 32,728
対EU28カ国 (百万ポンド)	▲ 67,114	▲ 79,627	▲ 89,019	▲ 21,500	▲ 22,842	▲ 21,465	▲ 21,521	▲ 23,191
経常収支* (百万ポンド)	▲ 77,908	▲ 92,469	-	▲ 28,474	▲ 23,259	▲ 17,488	▲ 17,457	-
通貨供給量* M4: (前年比、%)	0.2	▲ 1.1	0.2	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.5	0.2
公共部門所要借入額 (PSNCR) (百万ポンド)	16,528	23,089	8,478	23,089	17,333	13,152	15,799	8,478
外貨準備(金を除く) (10億米ドル)	92.4	95.7	119.0	95.7	105.8	110.7	118.9	119.0
政策金利 (%)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ポンド金利(3ヵ月物) (%)	0.51	0.54	0.57	0.56	0.56	0.57	0.58	0.58
国債利回り(10年物) (%)	2.36	2.53	1.83	2.07	1.63	1.87	1.94	1.88
米ドル/ポンド為替相場	1.565	1.648	1.528	1.583	1.515	1.532	1.549	1.517
ポンド/ユーロ為替相場	0.849	0.806	0.726	0.789	0.744	0.722	0.718	0.722
円/ポンド為替相場	152.58	174.33	184.92	181.25	180.44	185.95	189.18	184.10
ポンド実効相場**	81.43	86.99	91.44	87.33	89.41	91.20	92.91	92.18

(注)特記なき限り上段は前期比、下段は前年比。外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレボ金利が期末値、

その他が期中平均値。\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。

信頼感指数については、欧州委員会発表。\*\* 2005年=100

2. 月次

		2015/07	8	9	10	11	12	2016/01	2
実質GDP成長率*		データは四半期のみ							
		▲ 0.4	0.8	0.0	0.1	▲ 0.8	▲ 1.1	-	-
鉱工業生産*		0.6	1.6	1.3	1.5	0.7	▲ 0.4	-	-
	製造業	▲ 0.8	0.3	1.0	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.2	-	-
信頼感指数*	製造業	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 1.2	▲ 1.7	-	-
	消費者	1.7	▲ 1.3	▲ 3.7	▲ 2.7	▲ 6.3	▲ 7.4	▲ 4.9	▲ 8.8
小売売上数量*		3.0	2.8	0.4	0.3	1.0	4.1	3.8	1.1
		0.4	▲ 0.3	1.7	▲ 0.2	1.3	▲ 1.4	2.3	-
失業者数 (失業保険へ入)*	(千人)	790.5	791.7	792.2	792.4	790.2	775.0	760.2	-
	(前年比、%)	▲ 0.9	0.2	0.1	0.0	▲ 0.3	▲ 1.9	▲ 1.9	-
失業率*	(失業保険基準、%)	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	-
	(ILO基準、%)	5.5	5.4	5.3	5.2	5.1	5.1	-	-
平均賃金収入* (ボーナス含む)	(前年比、%)	3.6	3.2	2.1	1.9	2.2	1.5	-	-
	(3か月平均 前年同期比、%)	2.9	3.0	3.0	2.4	2.1	1.9	-	-
生産者価格	工業品産出価格	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1	-
		▲ 1.6	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 1.0	-
	原燃料投入価格	▲ 1.4	▲ 3.0	0.5	0.0	▲ 1.6	▲ 0.3	▲ 0.7	-
		▲ 12.8	▲ 14.6	▲ 13.4	▲ 12.3	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 7.6	-
物価	消費者物価(CPI)	▲ 0.2	0.2	▲ 0.1	0.1	0.0	0.1	▲ 0.8	-
		0.1	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	0.2	0.3	-
	総合指数(RPI)	▲ 0.1	0.5	▲ 0.1	0.0	0.1	0.3	▲ 0.7	-
		1.0	1.1	0.8	0.7	1.1	1.2	1.3	-
住宅価格	住宅ローン金利を除く(RPIX)	▲ 0.1	0.5	▲ 0.1	0.0	0.1	0.3	▲ 0.7	-
		1.1	1.2	0.9	0.8	1.1	1.3	1.4	-
	(HBOS, Halifax index)	▲ 0.4	2.7	▲ 0.9	1.0	▲ 0.0	2.0	1.7	-
		7.8	9.0	8.6	9.7	9.0	9.5	9.7	-
財輸出金額	世界計 (百万ポンド)	22,699	23,388	24,150	23,533	23,159	23,079	-	-
	(前年比、%)	▲ 7.4	1.4	▲ 2.7	▲ 8.2	▲ 4.7	▲ 5.6	-	-
	対EU28カ国 (百万ポンド)	10,946	11,446	11,177	11,325	11,049	11,035	-	-
	(前年比、%)	▲ 10.2	▲ 1.9	▲ 7.1	▲ 6.3	▲ 5.6	▲ 6.7	-	-
財輸入金額	世界計 (百万ポンド)	34,899	34,243	32,932	34,841	34,662	32,996	-	-
	(前年比、%)	▲ 1.7	2.3	▲ 6.5	0.5	▲ 0.5	▲ 13.0	-	-
	対EU28カ国 (百万ポンド)	18,277	18,530	18,283	18,991	19,014	18,595	-	-
	(前年比、%)	▲ 4.4	0.3	▲ 3.0	0.5	0.3	▲ 3.5	-	-
財貿易収支	世界計 (百万ポンド)	▲ 12,200	▲ 10,855	▲ 8,782	▲ 11,308	▲ 11,503	▲ 9,917	-	-
	対EU28カ国 (百万ポンド)	▲ 7,331	▲ 7,084	▲ 7,106	▲ 7,666	▲ 7,965	▲ 7,560	-	-
経常収支*	(百万ポンド)	データは四半期のみ							
通貨供給量*	M4: (前年比、%)	0.7	▲ 0.2	▲ 0.5	0.2	0.5	0.2	0.8	-
公共部門所要借入額(PSNCR)	(百万ポンド)	▲ 7,581.0	▲ 1,938.0	15,799	▲ 3,234	7,503	8,478	▲ 24,919	-
外貨準備(金を除く)	(10億米ドル)	113.3	117.1	118.9	120.5	117.9	119.0	122.0	-
政策金利	(%)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ボンド金利(3か月物)	(%)	0.58	0.59	0.59	0.58	0.57	0.58	0.59	0.59
国債利回り(10年物)	(%)	2.02	1.95	1.85	1.81	1.94	1.87	1.74	1.43
米ドル/ポンド為替相場		1.556	1.557	1.533	1.534	1.519	1.498	1.440	1.430
ポンド/ユーロ為替相場		0.707	0.715	0.732	0.732	0.706	0.727	0.754	0.776
円/ポンド為替相場		191.87	191.60	184.14	184.10	186.31	182.09	170.30	163.84
ポンド実効相場**		93.33	93.50	91.89	91.63	93.41	91.58	88.73	86.79

(注) 特記なき限り上段は前月比、下段は前年比。

\*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については欧州委員会発表。

\*\* 2005年=100 外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレボ金利が月末値、その他は期中平均値。

(資料) 英国政府統計局 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいませ。宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。